

福島第一原子力発電所
使用済燃料プール循環冷却二次系設備停止について

< 参 考 資 料 >
2016年12月5日
東京電力ホールディングス株式会社

1. 経緯

◆ 時系列

2016年12月4日

22:40頃 使用済燃料プール二次系A系にて吸込圧力低の警報発生

22:52 A系手動停止

22:53 使用済燃料プール二次系B系起動

B系にて吸込圧力低の警報発生

22:59 B系手動停止により二次系冷却停止

現場状況を確認したところ、1号機使用済燃料プール代替冷却系の一次冷却系ポンプ（A）の軸受け冷却水（共用の二次冷却系により供給）配管のベント弁が「開」状態であることを確認

2016年12月5日

0:08 当該弁を「全閉」

その後の現場確認の結果、共用の二次冷却系に漏えい等の異常がないこと、および1号機使用済燃料プール代替冷却系の一次冷却系ポンプ（A）の軸受け冷却水配管のベント弁が「開」状態であったこと以外に異常がないことを確認

5:27 使用済燃料プール二次系共用設備を復旧、冷却再開

TEPCO

福島第一原子力発電所 3号機原子炉注水停止に伴う
運転上の制限からの逸脱ならびに復帰について

< 参 考 資 料 >
2016年12月5日
東京電力ホールディングス株式会社

<時系列>

2016年12月5日

10:02 定例点検を実施していた協力企業作業員がよろめいて左肘を3号機復水貯蔵タンク(CSTという)炉注水ポンプ（B）のスイッチにぶつけ、スイッチのカバーが破損

同時刻、同ポンプ（B）が停止した警報が発生するとともに、3号機の原子炉注水が停止したことを確認

10:30 3号機CST炉注水ポンプ（B）が停止したことから、特定原子力施設の保安第1編第18条に定める運転上の制限「常用原子炉注水系において、原子炉の冷却に必要な注水量が確保されていること」を満足できないと判断

10:59 3号機CST炉注水ポンプ（A）起動し、原子炉注水を再開

11:00 現場にて異常がないことを確認したことから、運転上の制限を満足していると判断

<停止前および再開後の状況>

・注水量 4.2m³/h→4.4m³/h

・原子炉底部の温度 23.1℃→23.1℃

TEPCO